

レジメン名

mFOLFOX6+Trastuzumab(患者限定)

出典 ハーセプチン適正使用ガイド
エルブラット適正使用ガイド
Bull Cancer 2015;102:324-331

実施部署区分

☒入院 ☒外来 ☐処置

対象疾患

HER2過剰発現の胃癌

☒進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐初発
☐

投与減量の基準

好中球	500/mm ³ 未満		
血小板	5万/mm ³ 未満		
その他	上記基準またはGrade3以上の消化器系の毒性を認めた場合、次回投与時L-OHPを65mg/m ² 、5-FUを20%減量		

投与中止の基準

好中球	1500/mm ³ 未満		
血小板	7.5万/mm ³ 未満		
その他	LVEFが50%未満 Grade2以上の末梢神経障害 Grade3以上の非血液有害事象		

1クール期間 21日^{※2}

総クール数 PD

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
トラスツズマブ	8mg/kg ^{※2}	生食250mL	90分 ^{※1}	d1(1コース目)
トラスツズマブ	6mg/kg ^{※2}	生食250mL	90分 ^{※1}	d1(2コース目以降)
エルブラット(オキサリプラチン)	85mg/m ²	5%TZ500mL	2時間	d1
レボホリナート	200mg/m ²	5%TZ250mL	2時間	d1
5-FU(急速静注)	400mg/m ²	NS50mL	全開	d1
5-FU(持続静注)	2400mg/m ²	輸液適量	46時間	d1
※1 初回90分で忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで投与時間の短縮可能				
※2 出典は14日間隔、投与量が異なるが、保険適用上21日毎で登録。				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①生食50mL ルート確認用 ②トラスツズマブ + 注射用水 ml + 生食250mL (90分) ^{※1} (2回目以降30分まで短縮可) ③アロキシ0.75mg/バック+デキササート6.6mg (15分) ④エルブラット85mg/m ² +5%TZ500mL (2時間) ④' レボホリナート200mg/m ² +5%TZ250mL (エルブラットと同時に、2時間) ⑤5-FU400mg/m ² +生食50mL (全開) ⑥生食50mL (全開) ⑦5-FU2400mg/m ² +生食αmL 計100mL (インフューザーポンプ使用にて46時間で投与) <内服> day2及び3 デカドロン 4mg 分1 朝食後